

報道発表資料
平成27年11月16日
仙台管区气象台
東北地方整備局
宮城県
栗原市

「平成27年度防災気象講演会」の開催について

この度、仙台管区气象台、東北地方整備局、宮城県、栗原市の4機関共催で下記のとおり「平成27年度防災気象講演会」を開催することとなりましたので、お知らせします。

本講演会は、自然災害から身を守るための知識や行動など、災害への備えを目的としております。防災を考える上で少しでも皆様のお役に立てて頂けると幸いです。

記

日時：平成27年11月28日（土）13時30分～15時30分
場所：この花さくや姫プラザ（栗原市役所志波姫総合支所）
所在地：栗原市志波姫沼崎南沖452
共催：仙台管区气象台、東北地方整備局、宮城県、栗原市
後援：日本赤十字社宮城県支部、日本気象予報士会東北支部、
NPO 法人防災士会みやぎ
備考：入場無料、事前申し込み不要

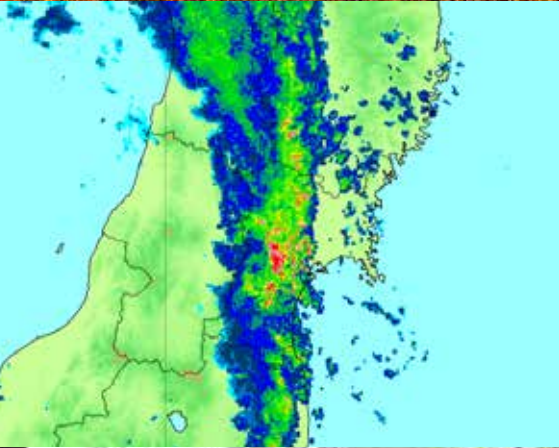
問い合わせ先：

（取材の申し込み）

仙台管区气象台業務課 TEL 022-297-8102

（内容について）

同 防災調査課 TEL 022-297-8161



平成27年度 防災気象 講演会

平成27年11月28日 **土**

開演 13:30 ~ 15:30 (開場 12:00 ~)

会場 この花さくや姫プラザ
(栗原市役所志波姫総合支所)

入場無料・申込不要 どなたでもご参加できます

基調講演 13:30 ~ 14:20

「岩手・宮城内陸地震で発生した
土砂災害の対応」
土田 恒年 東北地方整備局河川部 地域河川調整官

「防災気象情報の上手な利用方法」
和田 幸一郎 仙台管区气象台気象防災部
気象防災情報調整官

**パネル
ディス
カッション** 14:30 ~ 15:30

「災害時の避難行動
～ 自主防災組織を中心とした住民がとるべき避難行動～」

(パネリスト) 佐藤 喜久男 栗原市総務部 次長兼危機管理監
金澤 大樹 栗原市耕英地区行政区長
土田 恒年 東北地方整備局河川部 地域河川調整官
和田 幸一郎 仙台管区气象台気象防災部 気象防災情報調整官

(コーディネーター) 竹下 愛実 NPO法人気象キャスターネットワーク 気象予報士

共催: 仙台管区气象台
東北地方整備局
宮城県
栗原市

後援: 日本赤十字社宮城県支部
(社)日本気象予報士会東北支部
NPO法人防災士会みやぎ

お問合せ: 仙台管区气象台防災調査課
022-297-8161

(敬称略)

開催にあたって

栗原市は今年で市制10周年を迎えましたが、この間に「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」による大規模な土砂災害や、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」、そして「平成27年9月関東・東北豪雨」での洪水・浸水被害など、自然災害によりたびたび大きな被害がありました。本講演は、これら自然災害から身を守るための知識や行動など、災害への備えを目的としております。防災を考える上で少しでも皆様のお役に立てて頂けると幸いです。

基 調 講 演

「岩手・宮城内陸地震で発生した土砂災害の対応」

東北地方整備局河川部 地域河川調整官

土田 恒年 (つちだ つねとし)

岩手・宮城内陸地震により、栗駒山東南麓を中心として河川沿いの斜面の崩壊あるいは地すべりによる大量の土砂により、河川がせき止められる天然ダムが15箇所発生しました。

せき止め部が決壊すれば、下流域が大規模な土石流や洪水流に見舞われる恐れがあったことから、二次災害防止の観点から岩手県及び宮城県の間県知事より対策要請を受け、東北地方整備局では緊急性の高い9箇所において緊急対策を行いました。緊急対策はハード対策だけでなく、情報連絡体制や避難体制の確立などのソフト対策も併行して実施しました。現在では更なる土砂の安定を図るための砂防堰堤を設置するなど恒久対策を実施しています。

ここでは、大規模に発生した土砂災害に対する東北地方整備局の取り組みを紹介するほか、岩手・宮城内陸地震が契機となり、土砂災害防止法の改正がなされるなど、大規模な土砂災害が発生した場合の緊急調査の実施や土砂災害緊急情報の周知が新たに定められ、土砂災害の防止に向けた取り組みが充実されてきていることから、土砂災害防止に向けた様々な取り組みを紹介しながら今後の防災について考えていきます。

「防災気象情報の上手な利用方法」

仙台管区気象台気象防災部 気象防災情報調整官

和田 幸一郎 (わだ こういちろう)

「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」で発生した土砂ダム(河道閉塞)対応や復旧活動を支援するため、仙台管区気象台は東北地方整備局や栗原市と連携した情報を提供するなど、公助の役割を果たしています。一方、テレビやラジオ、インターネットを通じて住民の皆様へ届けられる防災気象情報は、住民の皆様の自助、共助に役立つものでありたいと考えています。

災害発生時に命を守るためには自身の判断力と避難する行動力が必要となることから、最近の災害事例を通して、早めの避難準備をするために必要な情報入手と、安全に避難するために必要な知識について解説します。

パネルディスカッション

「災害時の避難行動 ～ 自主防災組織を中心とした住民がとるべき行動～」

栗原市では、「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」や「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」、「平成27年9月関東・東北豪雨」などの災害から大きな被害を受けました。そのような大規模な災害に対する地元住民の行動と、国や自治体が行った判断や支援の経験を活かし、今後起こり得る土砂災害、水害、火山災害などに対する備えと避難行動について意見交換をします。

また、今年9月に認定を受けた、観光と防災の両面から地域を学べる「栗駒山麓ジオパーク」を通じて、防災機関と地域住民のみなさんが一体となって災害への備えとなる取り組みや方策を探ります。

会 場 この花さくや姫プラザ

栗原市役所志波姫総合支所
(栗原市志波姫沼崎南沖452)

会場の駐車場には限りがございますので、できる限り乗り合いでお越しいただくなどのご協力をお願い致します。

